

# 2016年度 活動記録

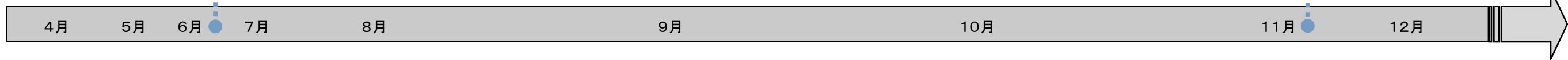
## インターキッズで学んだこと。



6/26 第1回 国際塾  
松畑熙一 塾長 (中国学園大学学長)  
「ローバル人財」を目指して  
～「ローカル」と「グローバル」の狭間で～  
(岡山国際交流センター・レセプションルーム)



11/12 第11回 国際塾  
松畑熙一 塾長  
『あなたのローバル人財への成長度は?』  
第13期生卒業式・懇親会  
(ノートルダム清心女子大学)



7/3 第2回 国際塾  
浜家弘巳 会長  
『国際人としての一般常識』  
食卓マナー・面談テストなど  
(中国学園大学)



8/21 第5回 国際塾  
猪原満也・小林修典・北川あえ  
浜家弘巳インターキッズの理事による  
『海外経験から学ぼう～失敗から学ぶ』  
(オリエント美術館)



9/18 第8回 国際塾  
工藤 隆理事 中国・韓国・インドネシア  
ベトナム・バングラデシュからの留学生  
『留学生と本音を語り合おう』  
(オリエント美術館)



12/23 第4回 ESD カフェ URA2016  
県下の中高校生 14校 76名が参加、  
食の問題、グローバル化、国際(異文化)理解、  
健康寿命、町おこし、テロ、難民、貧困等さまざまな課題  
について、日本語・英語によるプレゼンテーションが行われ  
ました。学校の壁を超えて、楽しくアイデアあふれる有意義  
な意見交換の場となりました。  
(岡山国際交流センター)



7/17 第3回 国際塾  
内山兼三社長(内山工業株)  
岡山から世界に進出する企業  
『企業が求める人材の基本能力』  
(オリエント美術館)



8/28 第6回 国際塾  
黒住宗道 黒住教副教主  
『世界の宗教と世界平和、宗教間  
のコラボ・共同の活動は何か』  
(神道山まることセンター)



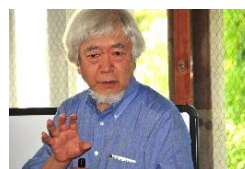
10/2 第9回 国際塾  
時任英人 倉敷芸術科学大学教授  
『岡山が輩出した偉大な政治家  
～犬養毅とその時代～』  
(犬養木堂記念館・木堂塾)



8/11 第4回 国際塾  
白井洋輔 備前焼ミュージアム館長  
『グローバルな歴史を持つ  
岡山の底力』  
(オリエント美術館)



9/11 第7回 国際塾  
大原謙一郎 大原美術館名誉理事長  
『日本と世界の文化の  
多様性とつながり』  
(大原美術館工芸館)



10/16 第10回 国際塾  
三谷直紀 岡山商科大学大学院教授  
『EUの歴史と課題』  
(岡山県立美術館 2F  
デジタル情報シアター)



### ☆第3回高校生懸賞論文 2016 実施・表彰

岡山県下各地の高校から多数のご応募をいただきありがとうございました。入賞されたのは以下8名の方々です。  
表彰式;2016年11月12日(土)15:30~16:00 清心女子大学 ヨゼフホール 2200JB 教室

- 【最優秀賞】 岡川 和意 おかやま山陽高校3年 「グローバル人財への道」
- 【優秀賞】 景山 真衣 岡山南高校2年 「福祉の先進地岡山を知る」
- 【優秀賞】 兼田 紗綺 清心女子高校2年 「本当の異文化理解とは」
- 【奨励賞】 木元 菜月 倉敷高校2年 「グローバル社会の中で必要な心」
- 【奨励賞】 栗子紗和乃 おかやま山陽高校3年 「世界総活躍社会を目指して」
- 【奨励賞】 霜山菜都乃 清心女子高校2年 「私が世の中を変える」
- 【奨励賞】 羽崎 まゆ おかやま山陽高校3年 「共に歩む社会へ」
- 【奨励賞】 三村里 沙 岡山南高校2年 「グローバル社会を生きる」

☆国際塾の講義録はYouTubeにアップしています  
ホームページからご覧ください ⇒⇒⇒⇒⇒



### ☆高校生グローバルゼミ 2016 実施

2016年10月23日(日)14:00~16:30 (岡山国際交流センター)  
～ハーバードビジネススクールのケーススタディーを体験!～  
テーマは、『日産 カルロス・ゴーン氏のリーダーシップについて』  
ファシリテーターに中島理恵さんをお招きしました。  
中島さんは、東京大学法学部卒、トヨタ自動車勤務からハーバード  
ビジネススクールへ留学しMBA修了、帰国後トヨタ自動車に戻った  
後、現職はグローバル企業・MSD(株)執行役員経営戦略部門統括。  
県下の高校生37名、教育関係者31名が参加し、ハーバードの白熱  
授業そのままにケーススタディーを実践しました。1999年経営危機に  
陥った日産の状況やカルロス・ゴーン氏の経営再建リバイバルプラン  
に関する資料を事前に渡し各自予習、高校生の意見を引出しながら  
ゴーン氏のリーダーシップを検証。  
この授業のポイントは、「事前に資料を読み込み、きっちり勉強しておくこと」「正解を教えてもらうのではなく、自分の考えを発言し意見のやり  
とりから学ぶこと」。日本の教育も今後「自自力」を磨き「アウトプット力」  
を鍛えるよう変化していく必要性を感じさせる授業でした。

